

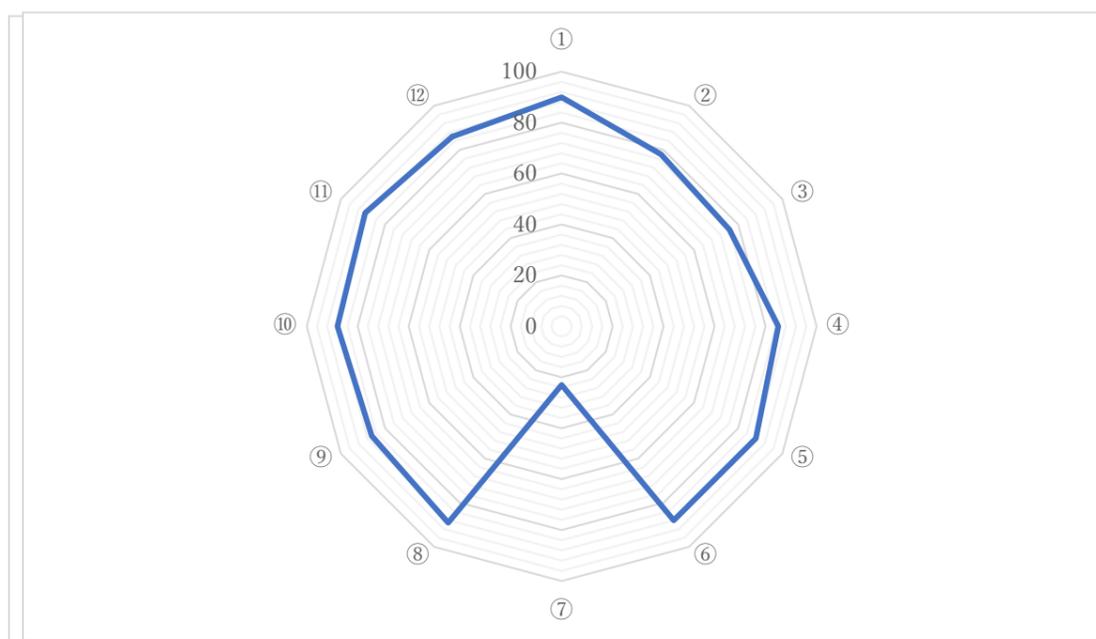
自己評価集計結果

<評価方法>

評価を4段階とし、項目を①~⑫に分け、それぞれの合計点をだす。

下記の集計表及びレーダーチャートは、回答した保育者の点数の平均点を表示している。

		R5 10月 回答数 15名	R5 2月 回答数 10名
評 価		平均点	平均点
I 保育の基本的理念と実践に係る観点	① 子どもの最善の利益の考慮（6項目）	90	93
	② 子どもの理解（9項目）	78	86
	③ 保育の環境（人・物・場）の構成（7項目）	76	76
	④ 保育士等の子どもへの関わり（援助・行動・言語・位置・タイミング・配慮等）（7項目）	85	87
	⑤ 育ちの見通しに基づく保育（8項目）	88	83
II 家庭及び地域社会との連携や子育て支援に係る観点	⑥ 入所する子どもの家庭との連携と子育て支援（8項目）	88	86
	⑦ 地域の保護者等に対する子育て支援（4項目）	23	24
	⑧ 地域における連携・交流（4項目）	89	63
III 保育の実施運営・体制全般に係る観点	⑨ 組織としての基盤の整備（8項目）	86	81
	⑩ 社会的責任の遂行（3項目）	88	81
	⑪ 健康及び安全の管理（12項目）	89	84
	⑫ 職員の資質向上（6項目）	86	84



まとめ

今年度より新しく保育士が7名増えた事により、III保育の実施運営や体制全般に係る観点については、他園でのキャリアを生かしクラス運営や担当の仕事に関し責任を持って取り組む事が出来、前年度よりも全体的に点数が上がったと考えられる。⑦地域の保護者等に対する子育て支援に関し、今年度は夏祭りへ同町内の子育て家庭へ案内を配布した（子育て家庭が少なく参加がなかった為、来年度は範囲を広げる予定）。⑧地域における連携・交流に関し、コロナ以前の外部交流を少しずつ持てるようになり、近隣小学校との交流（年長児の夏休み作品展見学、1・2年生による保育園体験など）、老人施設への訪問（敬老の日慰問・ハロウィン交流など）など多くの関わりを持つ事が出来た。